

日 本 史

高3生クラス

日本史 【45分×3】(高3生)

佐藤 一郎 先生

○「第一志望合格」の力を養成することは当たり前のこととして、それとは別に、私は君たちにこの時代を力強く生き抜いていく一術一を日本史の講義を通じて与えていきたいと考えています。これからの時代、荒波を真正面から乗り越えていくためには、実直に社会に目を向け深く物事について「考える力」が絶対不可欠です。

- 遣隋使を派遣した際、国書に激怒した皇帝煬帝は、なぜ答礼使を日本に派遣したのでしょうか。
- 律令制度の変容に応じて、国司の役割はどのように変わっていったのでしょうか。
- なぜ、藤原道長は関白の座につこうとしなかったのでしょうか。
- 惣領制の変化は御家人制度にどのような影響を与えたのでしょうか。
- いわゆる鎖国体制のなか、18世紀以降、洋学が発展していった背景には何があったのでしょうか。
- 明治政府が朝鮮半島の自立にこだわった理由は何なのでしょうか。
- 厳しい経済状況を招くことが予測されるにも関わらず、なぜ金解禁は旧平価で実施されたのでしょうか。
- マッカーサーが新憲法の公布を急いだ事情は何なのでしょうか。

戦後、70年を迎えた今、新たな日本社会を築いてく若い力を、講義を通じて育てたい。それが私の佐藤一郎の一大志です。大志があれば恐れるものは何もない。教室で待っています。

世 界 史

高3生クラス

世界史 【45分×3】(高3生)

村山 秀太郎 先生

○なにを隠そう、世界史は暗記科目だ。暗記量が勝負。入試の世界史は高校の定期試験と異なり、全地域・全時代・全分野から出題される。それは、各国史、同時代史、テーマ史と多岐に渡る。ということは、暗記は暗記でも、棒暗記では解けないということだ。どの切り口で出題されてもビビらないための備えを要する。それには、あらゆる切り口で世界史を制することのできる指導者による指導が不可欠となる。そのような指導者は日本に数えるほどしかいない。そのうちの1人がキミたちに贈るメッセージ。論理は記憶の小刀だ！